



## マックスフォース マグナムの乾燥時の喫食性 (室内試験)

- 試験目的** ゴキブリ防除用ベイト剤の乾燥時の喫食性とその殺虫効果
- 試験概要** 所定の時間 (2週間、4週間、8週間) 放置した各種ベイト剤をチャバネゴキブリに供試し、その効果を確認した。
- 使用薬剤** マックスフォース マグナム  
対照薬剤A
- 乾燥条件** 室温25℃、相対湿度70%、照明点灯時刻7:00～ 21:00

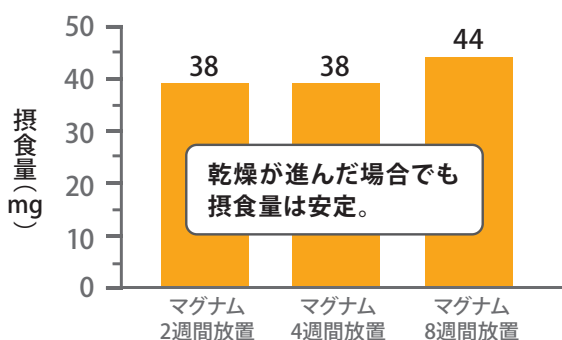
### 試験結果

#### 乾燥時の重量変化 (繰り返し数3回平均)

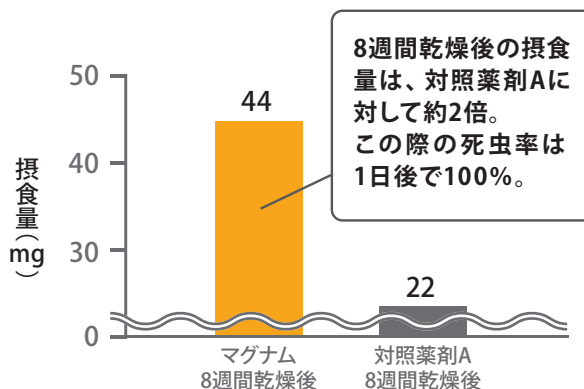
薬剤	処理時	2週間後	4週間後	8週間後
マックスフォース マグナム	250 mg	165 mg	166 mg	165 mg
対照薬剤A	250 mg	129 mg	130 mg	129 mg

マックスフォース マグナム、対照薬剤Aともに乾燥は進んだ。

#### 乾燥時の喫食性 ■ マックスフォース マグナム



乾燥が進んだ場合でも喫食量は安定。



8週間乾燥後の喫食量は、対照薬剤Aに対して約2倍。この際の死虫率は1日後で100%。

### 考察

マックスフォース マグナムは乾燥した場合でも安定した喫食量が維持され、ゴキブリ防除用ベイト剤として有用な効果を有していることがわかった。さらに、他の食物源とマックスフォース マグナムの喫食性が拮抗する場合においても、高い喫食性が長期間維持され、ゴキブリの密度を効果的に抑制すると推察される。

注：実際の現場では、よりベイト剤の効果を高くするため、清掃等を心がけることが重要。

試験機関 社内試験

